

第1回尾張旭市総合計画審議会 会議録

1 開催日時

令和5年3月23日（木） 午後3時から午後4時30分まで

2 開催場所

尾張旭市役所南庁舎3階講堂2

3 出席委員

鈴木 厚子、荒谷 弘美、森 喜美、佐藤 庸子、
山内 雄一朗（代理：朝見 政広）、高橋 芳江、星野 幸子、
フロルデリスゴメス 佳子、岡崎 信久、松宮 朝、伊藤 雅一、
三浦 哲司、加藤 千晴、山本 恵美子 14名

4 欠席委員

杉本 祐也 1名

5 傍聴者数

1名

6 出席した事務局職員等

企画部長 臼井 武男、企画課長 山下 昭彦、政策企画係長 田中 広樹、
政策企画係主査 奥村 香絵、政策企画係主査 北川 歩、
三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)名古屋（MURC） 佐々木 雅一

7 議題等

- (1) 尾張旭市総合計画とこれまでの策定過程について
- (2) 計画策定の背景について
- (3) 審議会の今後の進め方について

8 会議の要旨

企画部長

ただいまから第1回尾張旭市総合計画審議会を始めさせていただきます。私は、本審議会の会長が選出されるまでの間、議事の進行を務めさせていただきます、企画部長の臼井と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。

まずもって皆さん、本日は大変お忙しい中、そして足元の悪い中、本審議会に御出席をいただきまして、誠にありがとうございます。また、日頃から本市行政に格別の御理解と御協力を賜っておりますことに対し、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、お手元の資料に「委嘱状」がございます。本来であれば、お一人様ずつ市長よりお渡しをさせていただくべきところですが、時間の都合上、今回はこうした形でお渡

	しさせていただきますので、何卒御了承くださるようお願いいたします。 そして、特に記載はございませんが、委員の任期につきましては、後ほど御確認いただく尾張旭市総合計画審議会規則の規定に基づき、今回の調査及び審議が終了するまでとなります。御多忙の中、長期間にわたってお世話になりますので、なにとぞよろしくお願いいたします。 本日は、お手元の次第に沿って進めさせていただきますが、ここで会の開会にあたり、市長より一言御挨拶を申し上げます。
市長	皆様、こんにちは。尾張旭市長の柴田でございます。 本日は、大変御多忙の中、第1回尾張旭市総合計画審議会に御参集いただき、誠にありがとうございます。また、皆様方におかれましては、本審議会の委員の委嘱に対して御快諾を賜り、厚く御礼申し上げます。 さて、本市では、昭和48年に最初の計画を策定して以来、本市の最上位計画として、約10年ごとに総合計画を策定し、これに基づき市民の皆様とともに街づくりを進めてまいりました。そうした中、今回策定することとなりました第六次の総合計画は、計画的な市政運営を推進するだけでなく、市民や事業者の皆様と将来のビジョンを共有するため、これまで多くの皆様方とともに策定作業を進めてまいりました。その際にお寄せいただきました意見を拝見しますと、本市を「住みやすい街」と感じておられる方が大勢いらっしゃったほか、多くの方々が本市に愛着を感じておられることも分かりました。また、その一方で、本市に対しては、様々な期待や要望をお持ちであることも分かりました。 こうした中、近年では、人口減少や少子超高齢化のほか、相次ぐ大規模災害や環境問題の深刻化など、様々な課題への対応も求められております。このため、今回の第六次総合計画につきましては、こうした様々な要望や課題などを踏まえた上で、今後、多くの皆様方とともに「街づくり」を進めるための「道しるべ」になればと考えております。皆様方におかれましては、豊富な経験やノウハウのほか、専門的な知見で、調査審議いただきたいと考えておりますので、ぜひお力添えのほど、よろしくお願いいたします。以上、簡単ではございますが、開会にあたっての挨拶に代えさせていただきますと思います。

	今後、長期間に渡ってお世話になりますが、よろしくお願いいたします。
企画部長	それでは次第の２「尾張旭市総合計画審議会の設置根拠」に移りたいと思います。
企画課長	(資料２ 尾張旭市総合計画審議会の設置根拠 説明)
企画部長	ただいま御説明させていただきました根拠等に基づき、本審議会を運営してまいりたいと考えておりますので、なにとぞよろしくお願いいたします。 それでは続きまして、次第の３「委員の紹介」に移りたいと思います。
企画課長	(資料３ 尾張旭市総合計画審議会委員名簿等 説明)
企画部長	それでは続きまして、次第の４「会長の選出及び職務代理者の指定」に移りたいと思います。 まず、会長の選出につきましては、規則において「委員の互選」、つまり委員の皆様の間でお互いに選んでいただくこととしております。適任と思われる方がいらっしゃいましたら、ぜひ御推薦をいただきたいと存じますが、いかがでしょうか。
森委員	現在の第五次総合計画を拝見しますと、その策定時にも本審議会が開催されています。その際には、名古屋産業大学の伊藤先生が会長を務められていました。市の大きな計画となりますので、当然「連続性」といった視点も必要だと思います。地元の大学から、日々本市の発展を御覧になっている伊藤先生をお願いしてはいかがでしょうか。
企画部長	ありがとうございます。ただいま森委員から伊藤雅一委員を御推薦いただきましたが、皆様いかがでしょうか。
	(異議なしの声)
企画部長	ありがとうございます。ただいま御異議なしとのお声を頂戴いたしました。それでは、伊藤雅一委員を本審議会の会長として選出させていただくことを、ここで決したいと存じます。それでは大変恐れ入りますが、会長就任にあたり、伊藤会長から一言、御挨拶を頂戴したいと思います。
伊藤会長	改めまして名古屋産業大学の伊藤です。どうぞよろしくお願いいたします。 先ほど、市長の御挨拶の中にもありましたが、今回の総合計画は、尾張旭市のまちづくりの「道しるべ」になるものです。そういった意味で、今後１０年間の「市政運営の方向」あるいは「まちづくりの方針」を定める非常に重要な計画になります。

	「まちづくり」という言葉について、様々な御理解はあると思いますけども、私自身は「市民の皆さんが様々な暮らしを営む舞台づくり」というように考えています。多様性を認め合う中で、「暮らしやすい舞台を作っていく」、「活動しやすい舞台を作っていく」というのが「まちづくり」だと思います。そういった意味で、本審議会は各界各層からお集まりいただいておりますので、皆様の積極的な御意見をいただきながら、より良い答申をまとめていきたいと考えています。審議について、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。
企画部長	ありがとうございました。それでは続きまして、会長に事故あるとき、あるいは会長が欠けたときに、会長の職務を代理していただく「職務代理者」の指定に移りたいと思います。こちらにつきましては、規則の中で「会長が指定する」としておりますので、伊藤会長に指定をお願いいたします。
伊藤会長	それでは、現在、尾張旭市の地域福祉計画推進会議で、座長を務めておられる愛知県立大学の松宮先生を指定させていただきたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。
企画部長	皆様ありがとうございました。それでは、規則において「審議会の会議は、会長が議長となる」としておりますので、以後の進行につきましては、会長にお願いしたいと存じます。伊藤会長よりよろしくお願いいたします。
伊藤会長	それではこれより私が議事の進行を務めさせていただきます。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。本日は次第にありますように「議事」としまして、3つの事項が提示されております。それぞれ順に進めてまいりたいと思いますので、まず企画課より説明をお願いします。
政策企画係長 MURC	(資料4 尾張旭市総合計画とこれまでの策定過程について、資料5 基礎調査結果から見る第六次総合計画策定の背景について 説明)
伊藤会長	ただいま「尾張旭市総合計画とこれまでの策定過程について」、「計画策定の背景について」の説明をいただきました。 まず、(1)では「総合計画とは何か」といった基本的な部分のほか、これまで取り組んできた内容として、市民アンケートあるいは市民ワークショップ、議会との意見交換等に関する説明がありました。

	また、(2)では、様々なデータから分析した本市の特性や将来人口のほか、市民の希望する暮らし方、さらには健康都市の取組についての説明がありました。データから見る尾張旭市の姿も概観できたのではないかと思います。 それでは、以上の内容に対して、御不明な点や御意見等がありましたら、是非遠慮なく御発言いただきたいと思います。どなたからでも結構ですので、どうぞよろしくお願いいたします。
森委員	資料5の、青とピンクの2種類のグラフは、何を表しているのですか。
政策企画係長	青色は「愛着」についての、ピンク色は「誇り」についての得点を示しております。
森委員	20歳から29歳は「本市に誇りを感じていない」ということですか。
政策企画係長	「本市を誇れると感じている人」の割合よりも、「感じていない人」の割合のほうが高くなっております。
伊藤会長	資料4の「策定の視点」で「未来のあるべき姿や目標からバックキャスティングで施策等を検討する」とあります。従来の計画は「積み上げて目標に近づける」というフォアキャスティングで策定していましたが、今回はバックキャスティングということになっています。 例えば、気候変動やCO₂削減に当てはめると、「2050年までにカーボンニュートラルを実現するため、2030年までにこれだけのCO₂を削減する」。これが、バックキャスティングの方式に適した内容だと思います。一方、基盤整備等は財源との関係もありますので、やはり積み上げていかなければならない部分、つまりフォアキャスティングでアプローチしたほうが適している場合もあるのではないかと思います。このため、全てをバックキャスティングで検討していくのか、柔軟にフォアキャスティングも混ぜていくのかについて教えてください。
政策企画係長	「将来の暮らしが、このようになっていたい」という夢の実現に向け、どのようにしていくのかを計画としてまとめるには、バックキャスティングの考え方が適していると考えたところでございます。
伊藤会長	バックキャスティングの視点だけで検討すればいいのか、フォアキャスティングの視点も持ちながら検討すればいいのかについては、柔軟に考えれば良いのでしょうか。
政策企画係長	柔軟に考えていきたいと思います。

岡崎委員	バックキャスティングでやっていくということは、先の目標をしっかりと定めて、その目標に対して計画を立てて、施策を実行していくというのが基本だと思います。 環境問題など世の中が激動している中、この先をどう見ていくのが非常に重要になると思いますが、これまでの総合計画は、10年スパンで基本構想など基本的な考え方を持ってきました。このように世の中が大きく変わる中であっても、基本構想は「10年間の計画とする」という提案で良いでしょうか。これを「5年」にしている市町もある中、本市は「10年間変えない」とする何か想いなどありますか。
政策企画係長	大きな社会変動などによって、計画期間の中間年次に見直しすることも予想した上で、10年間を計画期間としています。
岡崎委員	基本的には、10年間のスパンで、バックキャスティングの手法を使いながら総合計画を作っていく、という認識で良いでしょうか。
政策企画係長	そのように考えています
朝見委員	グラフからは「誇りが低い」というよりも「年をとって誇れることがない」、「失っていく」といった感覚が読み取れ、「自分のまちに遊びに来たいところはない」といったところなど、自分の感覚と似ていて面白く感じました。 こうした地域特性のほかに、財政などの状況も考えながら、バランスを取って計画を策定していくことと思いますが、そちらの情報の共有は、この場の対象ではないという認識でしょうか。
政策企画係長	本日、資料を持ち合わせていないため、御提示できませんが、今の財政状況につきましては、共有させていただきます。
朝見委員	財政の計画と両輪で進めていくと思っていましたが、そういった部分は、過去の計画には入っていないのですか。
政策企画係長	過去の計画では財政計画も掲載しておりましたが、10年後の財政状況がなかなか見通しにくいところもございます。そうしたところは、実施する事業に合わせて対応していくという部分もあると考えています。
企画課長	現在の総合計画でも財政の見通しや歳入歳出の見通しをお示しし、「こうした計画のもとで、総合計画を推進する」という形で構成しております。今回の第六次総合計画につきましても、やはりお金の関係も含めて検討していく

	必要があると考えておりますので、今後、機会がございましたら、資料を御提示させていただきたいと思ひます。
伊藤会長	現在の総合計画での財政見通しは、「現行制度を基に推計した場合、こうなる」というものですので、どちらかというところだとフォアキャスティングのアプローチとなります。そういった意味からすると、財政見通しはフォアキャスティングで、計画内容はバックキャスティングで策定することとなり、どこかで双方を整理する必要があると思ひます。なお、財政見通しは、バックキャスティングではなかなかできないものだと思います。
三浦委員	市民の方々が「こうありたい」というところを踏まえて、バックキャスティングで策定するということだったと思ひますが、その「あるべき姿」は、具体的にどのように検討するのでしょうか。
政策企画係長	市民の皆様からいただいた御意見を参考に検討していく予定です。
三浦委員	その場合、現在の尾張旭市を踏まえた意見となるため、フォアキャスティングになるのではないのでしょうか。
政策企画係長	これらを踏まえて、市民の皆さんがどんな暮らしを希望しているかを検討し、その実現のためにどんな施策を進めていくかという部分をバックキャスティングで検討していきたいと考えています。
三浦委員	「現在お店がないからお店が欲しい」とか「ここをこうしたい」といった想いなどは、まさにフォアキャスティングの話であり、その整理が付いていないように思ひます。 現在、バックキャスティングが注目され、全国各地の総合計画でも導入されていますが、「バックキャスティングならでは」の内容になっているかというところ、難しい部分があり、多くのケースがフォアキャスティングになっています。このため、持ち帰って検討していただくなど、再考したほうがいいのかと思ひます。 必ずしもバックキャスティングにこだわる必要はないのではないと思ひますし、こだわるのであれば、従来のフォアキャスティングではないところで、どこまでできるかというところを見定める必要があると思ひます。
企画課長	御指摘のとおり、他自治体の総合計画に倣って、バックキャスティングを取り入れた部分もありますので、もう一度考え方を整理したいと思ひます。

伊藤会長	資料の「将来のまちづくりに向けて認識しておくべき社会の変化」にあるような変化が、今後１０年間続くこととなります。その時の尾張旭市はどういう状態にあるのか。例えば、デジタル社会の中で、メタバースなどの仮想空間などがありますが、今でもメタバースによって働き方が随分変わってきています。これがさらに１０年続いた時にどうなるのか。こうした中での「バックカスティング」だと思いますので、三浦委員から御指摘のとおり、市民アンケートは、やはり現状のこととなります。 こうした社会変化の中で、これから市民生活が大きく変わっていった時に、尾張旭市のまちづくりとして、どういった課題があるのかというところを捉えていく必要があるため、策定のアプローチの方法を整理していただければと思います。
松宮委員	「これぐらいの状況を１０年後に作り出す」という強い想いを持つべき分野が尾張旭市にあるかと思います。 例えば「少しずつ増やしていけばいい」とか「改善していけばいい」という施策は、会長の指摘のとおりフォアカスティング的な考え方で取り組むべきだと思います。 逆に、２０代の愛着と誇りのように、現状の満足度が低く、「５％ずつ向上する」や「少しずつ増やしていく」といった次元ではない部分については、思い切って目標を掲げ、バックカスティングの手法を用いて、進めるべきところを絞っていけると、非常にメリハリの付いた計画になるのではないかと思います。シビックプライドや愛着、誇りといったところは、結構気にされると思います。 住みよく、若い世代が定住していく「持続可能なまち」というのを考えている気がしますので、「こういうところは、思い切った魅力ある事業を打ち出していく」など、とにかく「全てをバックカスティングでやる」というものではないと思います。
伊藤会長	重点的に取り組む部分をバックカスティングで考え、それ以外をフォアカスティングで考えていくという意見でした。
企画課長	これまでの総合計画は「あれもこれも」といった内容でしたが、今後はそういう訳にもいかないため、今回の計画では重点分野を明らかにしたいと考えておりますが、そうした分野はバックカスティングで考えるなどの整理をしていきたいと思います。

鈴木委員	資料５のシビックプライドが得点表記となっていますが、こういった計算方法になっているのかを、簡単に御説明いただければと思います。 日中市外に出ていく年齢層の得点が低く、中学生や高齢者の方たちなど、日中市内にいる方の得点が高くなっているという点が興味深く、市民のプライドを高くするためには、市民を市外に出さなければいいのではないかと思います。その辺りを上手く反映できると良いと思います。
MURC	こちらの資料は「ネットプロモータースコア」というマーケティングの手法を用いており、計算方法としましては、愛着に関する点数を、１０点を最高点、０点を最低点として回答していただいています。 また、１０点から８点を選んだ方を「評価している方」として、５点から０点を選んだ方を「評価していない方」として割合を算出し、それらの差を資料にまとめておりますので、マイナスの場合は「評価をしていない方が多い」ということになります。
企画課長	市外に出た方の評価は低く、市内にいらっしゃる方の評価は高いという結果の理由までは分析しておりませんが、高校生から２０代ぐらいの時期は、少し外の世界に憧れるというところが強くなっていく時期かと思います。そういった部分もこのグラフに表れているのではないかと思います。
MURC	別のアンケートで、「２０代」は「まちで住み続けていく上で必要なもの」と、「尾張旭市に備わっているもの」の差が大きい、つまり「期待しているが、それが備わっていない」とする回答が多くなっています。 また「２０代」は、「まちで暮らしていく上で必要なものがたくさんある」としておりますので、「期待する部分が多い」というのも特徴となっています。 年を重ねていくと「期待するもの」や「要求するもの」が減っていくようなところも、愛着と誇りの結果に表れていると思います。
伊藤会長	その他に御意見等ありましたら、審議会終了した後も結構ですので、企画課にお伝えいただきますようよろしくお願いします。 続きまして「審議会の今後の進め方について」に移りたいと思いますので、企画課から説明をお願いします。
企画課長	(資料６ 審議会の今後の進め方について 説明)

伊藤会長	ただいま「審議会の今後の進め方について」説明がありました。対象とする範囲が広いため、計画の全体的な事項は「全体会」で、また、分野ごとの事項は「3つの部会」で調査審議していきたいとのことでした。 なお、現在の第五次総合計画の策定の際にも、効率的な調査審議を進めるため、同様に部会を設置していました。皆様方におかれましても、ただいまの提案のように対象を絞って調査審議をした方が進めやすいと思いますが、まずは部会を設置することについて、御意見がありましたら、ぜひ御発言をお願いしたいと思います。
森委員	資料見ますと、市の最上位計画となっていますので、範囲が非常に広がっています。それを、よりしっかりと調査審議しようと思うと、市の提案のとおりで良いのではないかと思います。 また、日程についても、これだけ多くの委員の皆さんがいらっしゃるので、できるだけ早めに決められると都合もつきやすいと思います。このため、スケジュールについても、提案のとおり進めていくということではよろしいのでしょうか。
伊藤会長	他に御意見はございますか。
	(意見なし)
伊藤会長	他に意見も無いようですので、ただいまの森委員からの御意見のとおり、計画の全体的な事項は全体会で、また、分野ごとの事項は3つの部会で調査審議したいと思いますが、皆さんよろしいでしょうか。
	(異議なしの声)
伊藤会長	ありがとうございます。続いて各部会の構成内容に関して意見等がありますか。
	(意見なし)
伊藤会長	御異議なしとことですので、お手元の資料の内容とおり、各部会を構成することとしたいと思います。各部会の進行方法などについて、企画課から補足説明はありますか。
企画課長	私どもの案をお認めいただきまして、ありがとうございました。なお、効率的に各分野の調査審議を進めるため、各分野に部会長とその職務代理を設定させていただければと考えていますが、各分野に関して造詣の深い、伊藤会長と松宮委員、そして三浦委員に、各部会長をお願いできればと考えております。

伊藤会長	ただいまの説明では、第1部会の福祉・子育て分野の部会長を松宮委員に、第2部会の都市整備・環境・教育分野の部会長を私に、第3部会の安心・活力・行政経営分野の部会長を三浦委員にとのことでしたが、委員の皆様、それでよろしいでしょうか。
	(異議なしの声)
伊藤会長	ありがとうございます。松宮委員と三浦委員は、各分野の部会長をお願いしてよろしいでしょうか。
松宮委員	(承諾する旨の声)
三浦委員	(承諾する旨の声)
伊藤会長	ありがとうございます。それでは第1部会は松宮委員、第2部会を私、そして第3部会は三浦委員を部会長にしたいと思います。なお、職務代理者については、各部会で別途選任していただくこととしたいと思います。 それでは続いて、会議開催の候補日程の確認に移りたいと思います。なお、本日は今後のスケジュールを御確認いただけるものを持ち合わせていない場合もあるかと思いますが、分かる範囲内で確認してまいりたいと思いますが、企画課から何か補足説明はありますか。
企画課長	各部会の部会長を御承諾いただきまして、ありがとうございました。今後の会議開催日程につきましては、色々と御調整いただく部分もあるかと思いますが、全体会の日程につきましては、御覧のような日程で設定をさせていただければと思います。また、会議時間としましては、毎回1時間30分程度を予定しておりますので、午前の場合は10時から11時30分まで、午後の場合は1時30分から3時までを原則とさせていただきたいと考えております。 なお、各部会の日程調整につきましては、皆様の御都合をお聞かせいただくための用紙をお手元にお配りさせていただきます。こちらに御記入の上、恐れ入りますが、4月10日の月曜日までに返送してくださるようお願いいたします。なお、御都合の良し悪しだけをメールで御連絡いただいても結構でございます。以上、勝手ばかり申し上げて大変恐縮ですが、なにとぞよろしくお願いいたします。
伊藤会長	ただいま部会の日程調整表をお手元にお配りしましたので、4月10日までに企画課へ提出していただきたいと思います。なお、全体会の日程の中で、御都合の悪い日はありますか。
	(都合について発言あり)

伊藤会長	御意見によりますと、第2回を6月23日（金）の午前10時から11時半まで、第3回を9月22日（金）の午前10時から11時半まで、第4回を10月25日（水）の午後1時30分から3時までとさせていただいてよろしいでしょうか。なお、第4回は教育委員会との日程調整が必要かと思しますので、企画課で対応してください。 また、本日確認できない方は、確認でき次第、企画課に連絡していただきたいと思います。
企画課長	最終的な調整結果につきましては、改めて御連絡をさせていただきますので、よろしくお願いします。
岡崎委員	部会の開催時間は、全体会と同じでよろしいですか。
企画課主査	午前であれば10時から、午後であれば1時30分からを原則として、御回答いただきたいと思います。どうしても日程の調整がつかなければ、個別に調整させていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。
伊藤会長	部会は5名で構成となりますので、日程が合わなければ別途調整ということをお願いします。 それでは、最後に次第の7「その他」に移りたいと思います。
企画部長	本日は皆さん長時間にわたりまして、貴重な御意見をたくさんいただくことができました、誠にありがとうございました。御助言いただいた点などにつきましては、内部でしっかりと検討させていただきたいと思っております。 そして、次回以降には、第六次総合計画に関する具体的内容の調査審議をお願いしていくことになります。 引き続き大変お世話になりますので、改めてよろしくお願いします。なお、大変恐縮ですが、皆様のお手元に資料をお届けするのが、会議の直前になってしまう場合もあるかと思いますが、なにとぞ御理解をいただきたいと思います。よろしくお願いします。 それでは最後に企画課より1点、皆様に御連絡させていただきます。
政策企画係長	本審議会の報酬につきましては、1回の会議出席につき6,400円から所得税を差し引いた額を月ごとに取りまとめ、翌月にお振り込みさせていただきますので、御承知おきください。また、源泉徴収等を行いますので、マイナンバーの届出が必要となります。ただし、市から報酬の受取などがある方は、既にマイナンバーをお伝えいただいているかと思しますので不要となります。

	詳しくは、第2回審議会の開催案内の中で、御連絡させていただきますので、よろしくお願いします。
伊藤会長	それではこれを持ちまして、第1回尾張旭市総合計画審議会を閉会とします。次回の審議会は、6月23日の午前10時から開催することとなります。別途、企画課から開催通知があるかと思いますので、よろしくお願いします。